

〈目次〉

谷川俊太郎《写真》の詩学 —『絵本』から『写真ノ中ノ空』まで—	山田 兼士 5
劇の魅力	大笹 吉雄・出口 逸平 18
決定的瞬間というポエティクス	犬伏 雅一 28
英語用法における部分否定の問題 (III) —調査と結論—	宮畑カレン 37
プラトン『ティマイオス』における時間の概念 —「永遠を写す動く似像」としての時間についての試論—	田之頭一知 52
パニャイアのヴィラ・ランテ —16世紀中期イタリアのベレッツァとグラツィア—.....	小谷 訓子 65
無言の造形から語る造形へ —齋部哲夫の彫刻の軌轍—	田中 敏雄 78
〈書評〉 「出会い」と「出会いからの解放」 —平金有一著『染める』—平金有一の軌跡』(『染織と生活社』刊)—	山縣 熙 85
玩具映画プロジェクト報告	太田 米男 90
アルファベット、表意化への試み	北端 信彦 101
御堂筋アートプロジェクト「ノビル眺め」 —都市生活を揺さぶるための対話術—.....	谷 悟 108
紀州 —神秘の国から日常の風へ—.....	澤田 勝行 114

CONTENTS

The Poetics of Tanigawa Shuntaro's Books of Poems with PhotosKenji Yamada	5
The Charm of the Stage	Yoshio Ozasa and Itsuhei Deguchi 18
The Poetics of the 'Decisive Moment'	Masakazu Inubuse 28
Problems of the Partial Negation and English Usage : Part III Survey and Conclusion	Karen Miyahata 37
Le concept de temps dans le <i>Timée</i> de Platon : sur quelques perspectives du temps comme εἰκὼν κινήτος αἰῶνος	Kazutomo Tanogashira 52
The Dual Aesthetics in the Villa Lante at Bagnaia : <i>Bellezza</i> and <i>Grazia</i> in Mid-Sixteenth-Century Italy	Noriko Kotani 65
From the mute form to talking sculpture : The route of sculpture of Tetuo Saibe	Toshio Tanaka 78
Revue de Livre Yuichi Hiragane : <i>Teindre – Trace de Hiragane Yuichi</i> (in Japanese) 《Rencontrer et Se Libérer de la Rencontre》.....	Hiroshi Yamagata 85
A Report of the Toy-Films Project	Yoneo Ota 90
Anagram : An Attempt at Representing the Alphabet Ideographically	Nobuhiko Kitabata 101
Midosuji Art Project 'An Expanding View' Artistic talking skill to impress and move city space	Satoru Tani 108
Breezes from Kishu	Katsuyuki Sawada 114

《筆者》

犬伏 雅一	大阪芸術大学教授 (美学・映像学)
大笹 吉雄	大阪芸術大学元教授 (日本演劇)
太田 米男	大阪芸術大学教授 (映画・日本映画史)
小谷 訓子	大阪芸術大学講師 (ルネサンス美術史)
北端 信彦	大阪芸術大学教授 (ブランディング・タイポグラフィー)
澤田 勝行	大阪芸術大学嘱託助手 (写真)
田中 敏雄	大阪芸術大学教授 (日本美術史)
谷 悟	大阪芸術大学講師 (アートプランニング)
田之頭一知	大阪芸術大学准教授 (美学・音楽美学)
出口 逸平	大阪芸術大学准教授 (日本文学・演劇)
山縣 熙	大阪芸術大学教授 (美学・芸術学)
山田 兼士	大阪芸術大学教授 (フランス文学・詩学)
宮畑カレン	大阪芸術大学教授 (英語)

《表紙作成者》

宮本 知	大阪芸術大学教授 (ヴィジュアルデザイン)
------	-----------------------

《編集後記》

大阪芸術大学『紀要30』が完成しました。お届けします。

本号には論文6篇、報告3篇、誌上作品1篇、書評1篇を掲載することができました。

三年目になる理論系の先生による、制作系の先生を論じる試みは、昨年の藪先生に続いて、今年は田中先生が担当してくれました。取り上げた先生は、彫刻の齋部先生です。私もいつか論じてみたいと思っていた先生です。田中先生ありがとうございました。

また、本年度からの試みとして、当研究所が関わっている出版助成を受けて出版された本を取り上げ、書評しようということになりました。またまた言い出した者の責任というわけで、一回目は私が担当することになり、平金先生の書評をさせていただきました。毎年、数点の本が学院の助成金を受けて出版されています。そうした本に、光をあてる意味でも、次年度からは、もっと多くの本が取り上げられればと考えてもいます。

表紙のデザインは、前年度に続き、宮本先生が担当してくれました。ありがとうございました。

毎年のことですが編集担当委員の先生方には暑い夏休み中の出講有難うございました。そして印刷所との交渉に当たってくれた研究所の松下さん、今年はことに「世紀のダ・ヴィンチを探せ!」の事務局も引き受けられていたので大変だったと思います。ご苦勞様でした。

山縣 熙

大阪芸術大学 紀要〈藝術〉30

平成19年12月1日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL0721-93-3781

編集／大阪芸術大学藝術研究所運営委員会

委員長 文芸学科・教授 山縣 照

実務委員 デザイン学科・准教授 江尻 幹子

文芸学科・教授 長谷川郁夫

文芸学科・准教授 笹谷 純雄

教養課程・教授 田中 敏雄

芸術計画学科・教授 豊原 正智

芸術計画学科・教授 樋口 光治

印刷／日本写真印刷株式会社